



プロジェクト名称

工学部の学生が”家具職人”になれるか！？

プロジェクト活動概要

我々が普段の日常で最も触れ合う建築が「家具」であり、最も難易度が高い椅子である。安全性や納まりが特に重要視され、加工から仕上げに至るまで優れた技能と多くの知識を必要とする。さらに、我々は金物を使用しないことで、木材の美を追求する。結果、「工学部の学生、特に建築学生は、実際のものづくりができない」という常識を客観的評価によって覆すことを目標とする。

9月までに行ったこと

- ・椅子の材料である木材を調達するため、新潟県の荻ノ島へ行き、安くて質の良い木材を調達した。
- ・また、その木材から約1ヶ月半かけて合計4脚の椅子を制作した。
- ・8月にはオープンキャンパスに参加し、主に大学生、主婦の方にアンケートを書いていただいた。

活動状況報告&活動写真など 活動期間：2013年6月 日～9月30日



椅子の材料調達の様子です。車を借りて新潟県の荻ノ島へと向かいました。現地の材木屋の方のご協力も得てより良い材を選びました。



オープンキャンパスに向けた椅子づくりの作業風景です。電動工具や大工道具を駆使して製作しました。少しのミスが仕上がりを大きく左右するため、集中して作業していました。皆椅子づくりに夢中です。



オープンキャンパス当日の様子。自分たちが一生懸命つくった椅子を見て、触って、座っていただきました。多くの方に評価していただける良い機会となりました。座って下さった皆様を書いて頂いたアンケートは今後集計します。今回一般のお客様に見て頂き、今後更なる椅子を製作する上での意欲へと繋がりました。

今後の活動計画、目標、意気込みなど

今後の活動としてまた新たに家具を制作し、芝浦祭にて家具を展示します。

また大工等の職人に対しても見て頂ける機会を得ましたので、その方たちにも評価して頂く予定です。

芝浦祭に来ていただいた方、職人方にアンケートを書いて頂き、集計します。

そして「工学部の学生、特に建築学生は、実際のものづくりができない」という常識が客観的評価によって覆すこと、を目標とし、オープンキャンパス以上のものを仕上げていきます。